2025.4.10

安全データシート

作成日：2025年4月10日

1.化学品及び会社情報

製品の名称：ハイドロシールクリーン
会　　社：ハクゾウメディカル株式会社
住　　所：大阪府大阪市中央区徳井町2-4-9
担 当 部 門：研究開発部
電 話 番 号：06-6942-0390
ファックス：06-6942-2662

2.危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険	：引火性液体	区分に該当しない
健康有害性	：急性毒性（経口）	区分に該当しない
	：急性毒性（経皮）	区分に該当しない
	：皮膚腐食性／刺激性	区分 2
	：眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	区分 2A

上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語　：警告

危険有害性情報　：皮膚刺激（H315）
：強い眼刺激（H319）

注意書き

安全対策　：取り扱い後はよく洗うこと。
保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。

応急措置　：皮膚に付着した場合、多量の水と石けんで洗うこと。
眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

皮膚刺激が生じた場合：医師の診断／手当てを受けること。
眼の刺激が続く場合：医師の診断／手当てを受けること。
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
飲み込んだ場合：気分が悪いときは医師に連絡すること。

保管　：密閉容器に保管すること。
廃棄　：ー

3.組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別：混合物
化学名又は一般名　：過酸化水素を含有する水溶液（不織布に含まれている）

4.応急措置

吸入した場合　：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
皮膚に付着した場合　：多量の水と石けんで洗うこと。
汚染された衣類を直ちに全て脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
皮膚刺激又は発しんが生じた場合、医師の診断／手当てを受けること。
眼に入った場合　：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合、医師の診断／手当てを受けること。
飲み込んだ場合　：気分が悪いときは医師に連絡すること。
応急措置をする者の保護　：適切な保護衣、手袋、眼又は顔面用保護具を着用する。
医師に対する特別注意事項：情報なし

5.火災時の措置

消火剤　：乾燥化学粉末、耐アルコール泡、二酸化炭素（CO_2）、水噴霧、砂、土
使ってはならない消火剤　：情報なし
火災危険性　：火災助長のおそれ　酸化性物質。
特有の消火方法　：周囲の火災に適した消火剤を使用する。
安全に対処できるならば着火源を除去すること。
適当な距離から注意して消火すること。
風上から近づく。
水噴霧や霧水で熱にさらされた容器を冷却する。
可能であれば火から遠ざけ、不必要な危険を避ける。
消火を行う者の保護　適切な保護衣、手袋、眼又は顔面用保護具を着用する。
適切な呼吸用保護具を着用する。
火災の煙、又は、分解生成物の蒸気を吸い込まない。

6.漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置
：適切な保護具を着用して作業する。
ガス、フューム、蒸気や噴霧を吸入しない。
十分な換気を行う。
風上から近づく。
こぼれた場合、床が滑りやすくなることがある。

環境に対する注意事項　：排水溝や河川に流さない。

封じ込めおよび浄化の方法及び機材
：大量に漏出した場合はポンプや吸引機を使って回収する。
大規模の場合、大量漏出は砂や土で封じ込める。
吸収した物質は、密封容器に回収する。
不活性吸収剤（砂、おがくず、ユニバーサル結合材、シリカゲル等）で吸収する。

二次災害の防止策　：漏出物質により滑る危険がある。

7.取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策　：暴露のリスクのあるすべての場所の近くに、救急用の眼をすすぐ器具と安全用のシャワーを設置する。

安全取扱注意事項　：皮膚、眼との接触を避ける。
適切な保護衣、手袋、眼又は顔面用保護具を着用する。
製品取扱い後には必ず手を洗う。
屋外又は換気の良い場所で作業する。
ガス、フューム、蒸気や噴霧を吸入しない。

保管

安全な保管条件　：密閉容器に保管すること。
直射日光や高温を避けて保管すること。
還元剤から離して保管すること。

安全な容器包装材料　：情報なし

その他　：低温で沈殿物を発生するので、直射日光の当たらない冷暗所（約 5～約 30℃）で保管する。
沈殿物が発生した場合、よく混合して使用する。

8.ばく露防止及び保護措置

許容濃度　：過酸化水素（7722-84-1）　ACGIH TWA（ppm）　1ppm

設備対策	：暴露のリスクのあるすべての場所の近くに、救急用の眼をすすぐ器具と安全用のシャワーを設置する。 適切な換気装置を使用する。
呼吸用保護具	：適切なマスクを着用する。
手の保護具	：適切な保護手袋
眼の保護具	：化学用ゴーグル又は安全眼鏡
皮膚および身体の保護具	：長袖防護服

9.物理的及び化学的性質

外観	：無色～微黄色透明液状
臭い	：無臭
ｐＨ	：約 2.5（原液）
融点／凝固点	：データなし
粘度（粘性率）	：データなし
沸点	：約 100℃
引火点	：なし
分解温度	：データなし
蒸気圧	：データなし
相対蒸気密度（20℃）	：データなし
比重（密度）	：約 1.01ｇ/ｍl（20℃）
溶解度	：水／任意に溶解する
n-ｵｸﾀﾉｰﾙ／水配分計数（Log Pow）	：データなし
爆発範囲（上限、下限）（ｇ/m^3）	：データなし

10.安定性及び反応性

化学的安定性	：通常の条件下では安定。
危険有害反応可能性	：還元剤との接触で反応する。
避けるべき条件	：情報なし
混触禁止物質	：還元剤
危険有害な分解生成物	：情報なし

11.有害性情報

急性毒性（経口）	：区分に該当しない 構成成分からの計算値
急性毒性（経皮）	：区分に該当しない 構成成分からの計算値

皮膚腐食性／刺激性　　：皮膚刺激
構成成分に基づいて推定
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性
：強い眼刺激
構成成分に基づいて推定
呼吸器感作性又は皮膚感作性　：情報なし
生殖細胞変異原性　　：情報なし
発がん性　　：情報なし
生殖毒性　　：情報なし
特定標的臓器毒性（単回ばく露）：情報なし
特定標的臓器毒性（反復ばく露）：情報なし
誤えん有害性　　：情報なし

12.環境影響情報

生態毒性
魚毒性（LC50）　　：データなし（ﾋﾒﾀﾞｶ/96時間、　OECD TG203準拠）
残留性・分解性
生化学的酸素要求量（BOD）：データなし（ｸｰﾛﾒｰﾀｰ法、0.1%水溶液）
化学的酸素要求量（COD）：データなし（JIS K-0102準拠、0.1%水溶液）
残留性・分解性　　：情報なし
生分解性　　：データなし（OECD 302B準拠）
生体蓄積性　　：情報なし
土壌中の移動性　　：情報なし
オゾン層への有害性　　：本品はモントリオール議定書の附属書にリストアップされていない。

13.廃棄上の注意

内容物／容器を国際、国、都道府県、または市町村の規制に従って廃棄すること。
都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理場にて処分する。
容器は内容物を完全に除去してから廃棄する。

14.輸送上の注意

国連番号　　：該当せず
品名　　：該当せず
国連分類　　：該当せず
容器等級　　：該当せず
海洋汚染物質　　：該当せず

指針番号　　：該当せず

15.適用法令

化審法	優先評価化学物質	：過酸化水素
	監視化学物質	：該当せず
労働安全衛生法	危険物	：該当せず
	有機則	：該当せず
	特化則	：該当せず
	表示対象物	：該当せず
	通知対象物	：過酸化水素（0.7%含有）
毒物及び劇物取締法		：該当せず
化学物質排出把握管理促進法（PRTR 法）		：該当せず
消防法		：該当せず
船舶安全法		：該当せず
航空法		：該当せず
海洋汚染防止法	ばら積み輸送	：供給された状態の製品には不適用
	個品輸送	：該当せず

16.その他の情報

なし

記載内容は情報提供であって、保証するものではありません。また、注意事項は通常の取扱いを前提としたものなので、これらを参考にして、自らの責任において、個々の取扱いにおいて適切な安全策・適切な処置をとられますよう、お願いします。